

「ハセツネ30K」大会実施報告

第17回ハセツネ30Kが去る3月30日、秋川渓谷リバーティオを会場に、戸倉三山を中心とした厳しいトレイルおよそ30kmをコースとして開催されました。

昨年の突然の酷暑とは反対に、今年は絶好のトレイルランニング日和となりました。1,340名が出走し、1,179名が完走、完走率は88%と昨年の69%から大幅に改善されました。今年は、スタート時のウェーブ数を選手の走力に合わせて、3から6にきめ細かく分け、コース上の渋滞が少なくなるようにしました。また、GPS端末を選手の必携装備とし、常時、選手の位置を把握し選手の安全を担保しました。さらに昨年末で入山峠に設定した第二関門の時間足切りを、選手に最後までレースを楽しんでもらえるようにルール変更し廃止しました。また関門でリタイアした選手の輸送をムーズにできるように、マイクロバスを導入し、選手を待たせる



上田瑠偉選手



高村貴子選手

ことなく会場に輸送することができました。全体として選手の満足度はアップしたものと自画自賛しております。

今年の総合優勝は、男子が上田瑠偉選手(2時間51分50秒、新コースでの新記録)、女子が高村貴子選手(3時間29分41秒、こちらも女子の新記録)でした。本大会は9月24日～28日にスペイン(カンフラン)で開催されるWMTRC2025(マウンテン&トレイルランニング世界選手権)のショートトレイル部門の選考レースとなっており、両選手共にショートトレイルの代表選手として選考されました。世界でのご活躍もお祈りします。

トレイルランニング委員会 原 誠一郎

トレッキングスクール春山編実技2実施報告「丹沢表尾根」(4/12～13)

安全登山教室委員会では、登山初心者の方や技術・体力に不安がある方を主な対象とした登山教室・トレッキングスクールを開催しています。今回は春山編実技2の様子を紹介します。実技2の舞台は丹沢表尾根。初日の天気は曇り時々晴れ。気温は低めで、ヒルはまだお休み中でした。講師1名/受講者4名からなる4班に分かれ、ヤビツ峠から表尾根へ。このルート、全班的二ノ塔・三ノ塔までが実は最も傾斜がきつい区間です。がんばりすぎてバテないよう、適宜休憩を取りながらゆっくりと登ります。三ノ塔では涼しい風に吹かれながら、これから向かう表尾根の山並みや眼下に広がる絶景を堪能しました。三ノ塔から先は、細かなアップダウンが続く爽快な稜線歩きですが、急登や鎖場もあり、まだまだ気を抜けません。脚が攀る人もできましたが、皆で助け合いながら進み、木ノ又小屋に到着。初日はここ花立山荘に分宿しました。小屋泊初めての受講者もいましたが、夜は小屋番さんも交えて山の話で盛り上がりしました。翌日は無情の雨。午後から雨脚が強くなる予報でしたので、早めに大倉尾根を下山することとしました。最高地点の塔ノ岳からは7kmほどの下り。雨でぬかるんだり、滑りやすいところもありましたが、全員無事に大倉に下山しました。

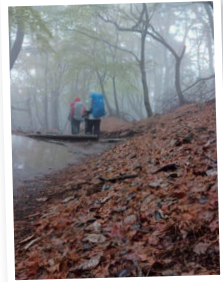
安全登山教室委員会 日高 一郎



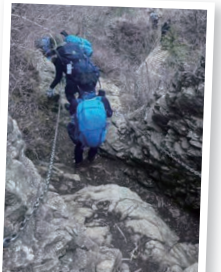
雨の塔ノ岳
(2日目、木ノ又小屋泊チーム)



三ノ塔から鳥尾山へ



雨でしとどに濡れた大倉尾根



鎖場は慎重に進もう

加盟山岳会紹介・会員番号 122 ～黒稜山岳会～

黒稜山岳会は1958年(昭和33年)に創立し今年で67年目を迎えました。山登りはオールランドで、岩登り、沢登り、雪山、山スキー、ハイキングなど個人の趣向に合わせて登ります。山行は個人山行が中心ですが、月に一回程度、企画山行があります。参加は自由ですが、みんなで山に登ったり、岩登りや雪山の基礎練習など行います。企画山行のひとつに谷川岳集中山行があります。谷川岳の頂上を目指して縦走、沢登り、岩登りなど個人の趣向で登ります。頂上で集まり下山はみんなで一緒に下ります。会の特徴としては個人を尊重しつつ会のまとまりも大切にしています。会の大事な行事として山神祭があります。山の安全を願い、遭難やケガなどしないように山の神様にお祈りします。毎年、秋にバンガローで開催します。多くの会員が参加して神様への祈りを行い、あとはワイワイ宴食になり山の話などをして楽しい一晩を過ごします。集会は中野のサンプラザで行っていましたが、サンプラザの改築のため集会場は高田馬場に移りました。月1回、第4水曜日に戸塚地域センターで行っています。創立して長い会なので年齢の幅が広く、高い人で80代、低い人で30代です。中心は50代、60代で会員数は50名です。以前に比べれば、先鋭な登山は少なくなりましたが、山が好きで仲間が好きな会員が集まり、安全を第一に考えて毎週いろいろな山行を行っています。

黒稜山岳会 宇田川 清幸



山神祭の集合写真



雪上訓練(白毛門の頂上にて)

編集後記

今年のゴールデンウィーク山行は如何でしたでしょうか。この冬は日本海の海水温度が例年に比べて高かったため、日本海側の多くの地点で大雪となったと聞きました。やはり地球温暖化が原因なのでしょうね。奥多摩小屋跡地に五十人平野営場がオープンしました。奥多摩小屋が閉められてから久しいですが、近くにキャンプサイトが出来たので山行も安全に楽になりそうです。これから夏山シーズンが始まります。熱中症や突然の雷雨に注意して、楽しんでください。

出版委員会 星野 恒行



スポーツ振興くじ助成事業



2025 年 2 号

公益社団法人 東京都山岳連盟

TMF

とがくれん通信

写真：山岳写真ASA 星野 恒行/ワタスゲ揺れる尾瀬ヶ原

都岳連 HP でクリック!

お知らせ
登山講習会
安全登山を目的とした
基礎的な技術の習得を
目指しています
詳しくみる

第13回通常総会・臨時理事会のご報告

去る5月27日(火)に開催された当連盟の第13回通常総会並びに臨時理事会についてご報告いたします。

【通常総会報告】

第1号議案 2024年度事業及び決算報告について

桜井専務理事より事業報告、本郷副会長・財務部長より会計報告、ならびに中嶋監事より監査報告が行われ決議承認頂きました。報告概要としてコロナの第5類移行ののち、24年度は事業数、参加者数とも増えていること。経常収益57,910千円 常費用57,718千円(内訳:事業費38,814千円 管理費18,904千円)、経常増減額は191千円のプラスとなりました。

補足として2024年度は神田司町の事務所レイアウト変更により約1,000千円を要したこと、租税公課が期ずれで1期半分計上となり約800千円増加などの費用負担増は2025年度には無いこと、一方2025年度には2024年度の助成事業での赤字の影響が200万円程度見込まれることを廣川より説明いたしました。

第2号議案 役員改選について

以下の理事、監事候補が信任投票で承認されました。

<理事候補>			
氏名	所属	経歴等	区分
1 廣川健太郎	J ECC、クラブアルバイテクノロジー	当連盟会長、代表理事	重任
2 原誠一郎	東京ハセツネクラブ	当連盟副会長 日本山岳スポーツ協会理事長	重任
3 桜井進	登高会 崑	当連盟専務理事、広報委員長	重任
4 本郷利夫	個人会員	当連盟副会長 指導連対部長、財務部長	重任
5 藤田智子	アルプス灯会	当連盟理事、事務局長	重任
6 賀来素明	J F A、グループ・D・モニターニュー	当連盟理事 プロガイド養成委員会委員長	重任
7 柿崎暢	T S C C、東久留米市山岳連盟	当連盟理事 スポーツクライミング局副局長	重任
8 須永栄信	山岳同人グループ・ダンプリング	当連盟広報委員会委員	新任
9 真島頼治	東京野歩路会	当連盟理事	重任
10 武士田尚子	個人会員	YMCA活動、当連盟教室参加 外部理事として立候補※	新任
<監事候補>			
氏名	所属	経歴等	区分
1 川瀬恵一	東京ハセツネクラブ、日本山岳会東京多摩支部	当連盟トレイルランニング委員長 日本山岳スポーツ協会理事長	新任
2 楠澤達也	個人会員	当連盟講習全般参加、財務業務 外部理事として立候補※	新任

※公益法人制度改革により、本年度より外部理事・外部監事の選任が公益認定の基準となりました。

【臨時理事会報告】

総会での役員選任後、総会会場で臨時理事会を開催しました。その場で会長を廣川健太郎、副会長を原誠一郎、桜井進の2名、専務理事を賀来素明とすることが決議承認されました。理事、監事の皆様および会長・副会長・専務理事の新体制にて、都岳連の活動の継続発展に取り組んで参ります。宜しくお願いいたします。

公益社団法人東京都山岳連盟 会長 廣川 健太郎



新役員の顔ぶれ



総会風景

第13回通常総会資料

期 日:2025年5月27日(火) 午後7時～
場 所:国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 401号

<次 第>

○開会の言葉

1. 会長あいさつ

2. 承認あいさつ

3. 報告、決議事項、議事録等

4. 選挙

5. 報告事項

○閉会の言葉



公益社団法人 東京都山岳連盟

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-10 パークサイドセブン2F

Tel/03-3526-2550 (月～金13:00～17:00) Fax/03-3526-2551(常時) https://www.togakuren.com E-mail:lej04543@nifty.com

雲取山・五十人平に野営場が復活オープン

老朽化を理由に2019年3月に閉鎖された奥多摩小屋跡地に、4月29日東京都の手で「五十人平野営場」がオープンし、同日奥多摩駅周辺に関係者が集い、式典及び「オープンまつり」が東京都主催で開催されました。都岳連もブースを設置し、「奥多摩トレイル安全データマップ」「安全登山ハンドブック」の配布、何でも登山相談コーナー開設、「多摩百山」の紹介、各委員会の活動紹介パネルの展示で都岳連活動を紹介するとともにオープンを盛り上げました。

「五十人平野営場」復活のいきさつ

トイレ棟を併設した旧奥多摩小屋は、山の安全と山岳環境の保全を担う重要な拠点であり、旧テント場は雲取周辺では最も広く、富士山を望むロケーションが人気でした。

自然保護委員会では小屋の閉鎖が公表される以前から情報収集を始め、テントサイトの復活とエコトイレおよび緊急避難施設の建設を求める署名活動を行い、さらに都岳連全体で取り組むよう「特別委員会」を立ち上げ活動しました。特別委員会は行政（奥多摩町、環境省、東京都）への要請に加え、さらに地元選出議員への陳情も続けました。

一方、自然保護委員会も独自の活動のなかで定期的なパトロールを行い違法テントやごみの投棄のチェック、また水場の保全活動も実施、こうしたことが奏功してか、2022年6月には都議会でも野営場新設が公表され、この日の開業に至った次第です。

野営場施設に関しては、予約システム、トイレの処理方法など、危惧される問題もあり、今後も注視していきたいと考えています。当面試行期間として70張定員のうち30張で留めていることもあって、休日を中心に満杯となりますが、復活した「五十人平野営場」を是非活用してみてください。

自然保護委員会 岡田 博行 / 小高 令子



五十人平野営場パンフレット



都岳連ブース



来場者に野営場再建の経緯や都岳連の活動を説明する

＜出版委員会からのお知らせ＞

とがくれん通信のタイトル写真を皆様から募集いたします!!

都岳連ホームページ山岳写真募集コーナーへ「とがくれん通信タイトル写真用」

とコメントをいれて応募してください。

杉山修の山と版画の世界

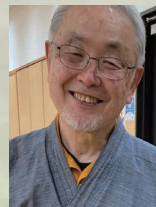
第14回

富士山が山梨県に続き静岡県でも通行料（入山料）¥4,000を徴収することになった。また夜通し登る「弾丸登山」や混雑を緩和するため午後2時以降の入山を規制するそうだ。

各地の山域では一部の山に偏って登山道のオーバーユースが問題になって久しい。今まで登山道整備は地元自治体や山小屋、ボランティアに頼ってきた。それももう限界を超えている。富士山の場合、2024年度は20万人の登山者数だそうだ。その人達の排尿だけでも想像すると恐ろしい。その負担の多さに地元は苦慮している。どうしても入山数を押さえたいと有料化したのだろうがその効果はあまりない。また最近はインバウンドの軽装登山者も少なくなく、自己責任とばかりは言っていられない事象が多々ある。山頂は3,700mもあるのだ。自然を甘く見るなど問いかけても馬耳東風のようなのだ。

さて、今回はその富士山である。その姿は世界中の人々を魅了する。春夏秋冬、早朝から日中、深夜まで24時間、感動の被写体になってそこに存在する。早朝の斜光の中、あかね雲が輝く富士に写真家も画家も皆、仕事？に忙しい。

やはり富士は富士。たかが富士、されど富士である。湖面の逆さ富士も美しい。



プロフィール

杉山 修(すぎやま おさむ)

1946年 東京、下町に生まれる。

登山活動の傍ら、四季を通して、写真・スケッチの取材を行い、山岳風景をテーマに、自撮り、自彫りの木版画を発表している。好山会会員、日本山岳画協会代表幹事、日本版画院同人、日本山岳文化学会会員

ホームページ : osamuhanga.com



不二曙光 越前和紙 顔料 墨 6版24摺 260×220mm

「太郎平小屋」「薬師沢小屋」「高天原山荘」「スゴ乗越小屋」を運営するロッジ太郎

北アルプスを代表する「太郎平小屋」「薬師沢小屋」「高天原山荘」「スゴ乗越小屋」。ロッジ太郎は、それら4つの山小屋の運営をしています。

「太郎平小屋」は2330mの太郎兵衛平に建つ小屋。後方には太郎山を、前方には薬師岳を望み、多彩なコースへの分岐点となっています。また小屋が管理する「太郎平キャンプ場」は、薬師岳方面へ徒歩20分ほど。水が豊富でテントサイトも多く、薬師岳に登る起点としても人気です。

「薬師沢小屋」は黒部源流と薬師沢の出合いに位置し、吊橋がシンボルマーク。この吊橋の歴史は古く「籠の渡し」「蓬萊橋」などとも呼ばれ、多くの登山者の往来を支えています。小屋の側を流れる薬師沢は、イワナ釣りや沢登りなどでも人気です。

「高天原山荘」は水晶山の麓に位置し、北アルプス最奥の秘境の地と呼ばれる高天原にあります。優しい灯が魅力のランプの宿で、近くには溪流に湧く天然温泉があり山旅の疲れを癒してくれます。

「スゴ乗越小屋」は立山～薬師岳縦走コースの中継地点に位置。立山方面には高山植物の宝庫である五色ヶ原、太郎平方面には国の特別天然記念物にも指定されている薬師岳の圏谷群が広がっています。

それぞれの小屋の詳細はロッジ太郎の公式HPやSNSでご確認ください。全小屋とも完全予約制ですので、ご予約のうえ是非お越しください。心よりお待ちしております。

ロッジ太郎 スタッフ一同



薬師沢小屋



太郎平小屋



高天原山荘



スゴ乗越小屋

全国優待施設案内

- ◎宿泊施設
- ◎奥多摩／三条の湯
- ◎奥秩父／雲取山荘
- ◎富士山／三ツ峠山荘、トモ工館
- ◎谷川岳／関東／谷川岳肩ノ小屋、永楽荘、谷川温泉(株)旅館 たにがわ、孀恋の宿あいさい、土合山の家、下仁田荒船の湯
- ◎日光／日光澤温泉、スパ・ビレッジカマヤ、日光湯元温泉(株)奥日光
- ◎小西ホテル
- ◎浅間／天狗温泉浅間山荘
- ◎尾瀬／山ノ鼻小屋、尾瀬小屋、燧小屋

- ◎新潟／燕温泉(有)ホテル花文、赤倉温泉大野天風呂「滝の湯」
- ◎丹沢／蛭ヶ岳山荘、みやま山荘
- ◎ハケ岳／蓼科山頂ヒュッテ、赤岳天望荘、ヒュッテ夏沢、美濃戸山荘、ハケ岳山荘、ハケ岳オーレン小屋、ペンションさんどりよん
- ◎北アルプス／明神館、太郎平小屋、薬師沢小屋、高天原山荘、スゴ乗越小屋、みくりが池温泉、雷鳥沢ヒュッテ、らいちょう温泉雷鳥荘、ロッジ立山連峰、大和リゾート(株)Royal Hotel 長野、中房温泉、新穂高温泉ひがくの湯と登山者食堂

- ◎南アルプス／北岳肩ノ小屋、山彦荘、赤石温泉
- ◎東北／北海道／八幡平高原ホテル、アルプ天元台、八甲田山荘、飯豊山荘、国民宿舎竜山荘、三斗小屋温泉大黒屋、酸ヶ湯温泉、八幡平リゾート(株)八幡平マウンテンホテル、(株)宿かり屋ドッドコム走り国際交流村、(有)元湯甲子温泉大黒屋、十勝岳温泉凌雲閣(株)
- ◎関西・中国／ホテル大山しろがね、ペンションいぶき、皆生温泉(株)三井別館
- ◎四国／剣山頂上ヒュッテ

- ◎登山用具販売店 神田／さかいやスポーツ
- ◎クライミングジム 西東京市／クライミングジム GIRI.GIRI

